華

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目）

※取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅰ　理念に基づく運営　１～５(自己№1～24・外部№1～14)				自己評価24項目・外部評価14項目	6	
Ⅰ理念に基づく運営	１　理念の共有(自己№1～3・外部№1～2)			自己評価３項目・外部評価２項目	1	
	１理念の共有	1 外部評価1	**○地域密着型サービスとしての理念【外部評価】** 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念の中にある『住み慣れた所でなじみの人達といつもの１日が送れる楽しく笑いの絶えない」と言う言葉をモットーに楽しく生きがいをもった生活ができるように日々取り組んでいる。	0	
		2 外部評価2	**○理念の共有と日々の取り組み【外部評価】** 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	全体会議やミーティングなどで毎回理念を共感し、その方向性にあったケアができているか職場研修の取り組みの中でも再度確認している。	0	
		3	**○家族や地域への理念の浸透** 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族会や運営推進会議などで理念を伝え、それに基ずいたケアを行っていることを説明している。地域の方との交流や地域のボランティアの受け入れなども意欲的に行っている。	1	地域の活動に多く参加し、繋がりを確立していきたい。
	２　地域との支え合い(自己№4～6・外部№3)			自己評価３項目・外部評価１項目	1	
	２地域との支え合い	4	**○隣近所とのつきあい** 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	玄関の周りの植木やプランターに花を植え近所の方が季節を感じられるようにしている。近隣の方々に気軽にあいさつを行い、親しみやすい雰囲気を感じてもらえるように努めている。	0	
		5 外部評価3	**○地域とのつきあい【外部評価・重点】** 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に入り、地域の催し物（夏祭り・幼稚園の運動会etc)に入居者と参加している。ホームの夏祭りやｸﾘｽﾏｽ会など地域のサークルの方々に参加してもらっている。	1	地域の方々にもホームに気軽に足を運んでもらえる様に、これからも地域の行事に多く参加し交流を深めたい。

社会福祉法人福岡市社会福祉協議会
介護サービス評価センターふくおか

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅰ理念に基づく運営	2 地域との支え合い	6	**○事業所の力を活かした地域貢献** 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	ながら医院が行っている介護予防教室や転倒予防教室が当ホーム1階の地域サロンで行われている。職員も参加させてもらい地域の方々と話し合うよい機会となっている。	0	
	3　理念を実践するための制度の理解と活用(自己№7～11・外部№4～7)			自己評価５項目・外部評価４項目	3	
	3　理念を実践するための制度の理解と活用	7 外部評価4	**○評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】** 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価で指摘のあった地域との交流についてを大きな課題として、全体会議やユニット会議で意義を説明し、外部評価に対する意見や改善点を話し合い取り組んでいる。	0	
		8 外部評価5	**○運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】** 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の際にサービス内容や評価への取り組みについて報告し、地域の方々とモニタリングし意見交換を行って、サービスの向上に努めている。	1	行政や地域包括支援センターと連絡し運営推進会議に活用できる様に努力したい。
		9 外部評価6	**○市町村との連携【外部評価・重点】** 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村の担当者と連絡を取る機会が少ない。	1	サービスの質の向上のためにも、市町村との話し合いの機会を作り連携をはかりたい。
		10 外部評価7	**○権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】** 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護や成年後見人制度についての研修を受け、報告を兼ねた勉強会を行い職員や家族に理解してもらえる様努めている。	1	権利擁護や後見人制度については、定期的に勉強会を行い、内容と必要性を各自理解できるようにして行きたい。
		11	**○虐待の防止の徹底** 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	職員が虐待についての研修会に参加し、全体会議や勉強会などで報告をしている。また職員一人一人に関わり方を考える機会とし、虐待の認識を持たせ防止に努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅰ理念に基づく運営	４　理念を実践するための体制(自己№12～18・外部№8～10)			自己評価７項目・外部評価３項目	0	
	４　理念を実践するための体制	12	**○契約に関する説明と納得** 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は、途中で区切り質問しやすい雰囲気をつくりわかりやすい言葉で伝え納得されるまで説明している。	0	
		13	**○運営に関する利用者意見の反映** 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情箱を設置し、面会時は必ず家族と話す機会を作っている。苦情をいただいた時は、速やかに話し合い、原因を考え対策を立てて運営に反映させている。	0	
		14 外部評価8	**○家族等への報告【外部評価・重点】** 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	各種行事や日常生活の写真を廊下に展示したり、各自のスクラップに綴じたりして面会時見てもらうようにしている。訪問診療で処方や状態の変化のある時は、その日に電話連絡を行っている。面会時は、家族に生活の状況を必ず報告している。	0	
		15 外部評価9	**○運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】** 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情箱を設置し、こちらから家族へ意見がないかお尋ねしている。苦情をいただいた時は、速やかに話し合い、原因を考え対策を立てて運営に反映させてよう努めている。	0	
		16	**○運営に関する職員意見の反映** 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議、リーダー会議、全体会議と段階的に行い、報告や意見交換を行う場を多く設け運営やサービスの質向上にいかしている。	0	
		17	**○柔軟な対応に向けた勤務調整** 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	月初めに勤務表を作成し、行事や会議に合わせ事員確保に努めている。急な業務上の変更時は、職員の生活を重視し、不可能な場合は管理者が対応している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅰ理念に基づく運営	4 理念を実践するための体制	18 外部評価10	**○職員の異動等による影響への配慮【外部評価】** 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職を最小限に抑える様努力している。やむを得ない場合は、面会や行事に参加してもらい入居者にダメージを与えない様に努力している。	0	
	5 人材の育成と支援(自己№19～24・外部№11～14)			自己評価６項目・外部評価４項目	1	
	5 人材の育成と支援	19 外部評価11	**○人権の尊重【外部評価・追加】** 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の採用にあたっては、性別、年齢の制限はおこなっていない。資格取得や研修参加などできるように配慮している。	0	
		20 外部評価12	**○人権教育・啓発活動【外部評価・追加】** 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	研修に参加すると同時に会議などで人権教育に取り組んでいる。	0	
		21 外部評価13	**○職員を育てる取り組み【外部評価】** 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営法人で行う研修や外部研修に積極的に参加させている。外部研修後は、報告会を開き情報伝達に努めている。	1	認知症の実践者研修やリーダー研修など積極的に職員を参加させて、専門性を高め現場に生かしていきたい。
		22 外部評価14	**○同業者との交流を通じた向上【外部評価】** 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に入会にしているので他ホームの職員との交流があり、電話やメールなどで情報交換を行っている。	0	
		23	**○職員のストレス軽減に向けた取り組み** 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員が、相談しやすい環境や雰囲気を作り、相談を受けた場合は、速やかに対応している定期的に交流会を設けストレス軽減に努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 人材の育成と支援	24	**○向上心を持って働き続けるための取り組み** 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員本人の意向を重視しながら、資格取得にむけた支援を行っている。	0	
Ⅱ　安心と信頼に向けた関係作りと支援　１～２(自己№25～34・外部№15～16)				自己評価１０項目・外部評価２項目	0	
Ⅱ　安心と信頼に向けた関係作りと支援	１　相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己№25～28・外部№15)			自己評価４項目・外部評価１項目	0	
	１　相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	25	**○初期に築く本人との信頼関係** 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前に見学に来ていただいたり、自宅や施設などへ訪問し話を聞いている。面談時は、家族やケアマネジャーと同席してもらい、必要な情報を収集している。	0	
		26	**○初期に築く家族との信頼関係** 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	最初は、ホームを見学してもらい、見学時相手の話を聞き安心して生活できるようにしている。入居申込書にホームで望まれる事を記入していただき、よりよいサービスを提供できる内容につなげている。　電話相談にいつでも対応できるような体制を整えている。	0	
		27	**○初期対応の見極めと支援** 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	現在利用しているサービス内容を確認し、ケアマネジャーにサービスの種類や内容の説明をしてもらっている。グループホームとは、どういう所か理解してもらう様に説明している。	0	
		28 外部評価15	**○馴染みながらのサービス利用【外部評価】** 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族にホームに来て頂き、ホームの雰囲気に馴染めそうか判断している。今までどうりの生活ができるように環境や生活パターンを把握し、性格や趣味など本人が早く馴染まれるように家族から情報をもらい検討している。	0	
	２　新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価№29～34・外部評価№16)			自己評価６項目・外部評価１項目	0	
	２新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	29 外部評価16	**○本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】** 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々のレクリェーションや毎月の行事を一緒に楽しんでいる。 入居者との会話する時間を大切にし、お互い支えあう関係作りに繋げている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅱ　安心と信頼に向けた関係作りと支援	２　新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	**○本人を共に支えあう家族との関係** 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時、入居者の変化や最近の様子を伝えたり、連絡を取り報告している。家族と一緒にレクリェーションに参加し、会話や楽しい時間を共に持つようにしている。	0	
		31	**○本人と家族のよりよい関係に向けた支援** これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時は、リビングではなく入居者の居室で過ごして頂いている。行事に参加していただけるように行事案内を毎月出している。	0	
		32	**○馴染みの人や場との関係継続の支援** 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族以外の友人や近隣の方々の面会も行っている。散歩や外出の際も希望の場所や馴染みの場所へお連れしている。	0	
		33	**○利用者同士の関係の支援** 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	本人の性格、入居者同士の関係などを把握して、席を配置したり、孤立しないようにしている。隣のユニットで体操やレクリェシーションしたり皆で楽しく過ごす時間を大切にしている。食事の片付けや洗濯物たたみも入居者同士が協力して行えるように支援している。	0	
		34	**○関係を断ち切らない取り組み** サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去後もハガキや電話などで連絡を取ったり、お茶を飲みに来てもらったりしている。	0	
Ⅲ　その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント　１～４ (自己№35～51・外部№17～22)				自己評価１７項目・外部評価６項目	1	
	１　一人ひとりの把握(自己№35～37・外部№17)			自己評価３項目・外部評価１項目	0	
	１　一人ひとりの把握	35 外部評価17	**○思いや意向の把握【外部評価】** 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	可能な限り本人から要望を聞き、困難な場合は、家族と相談し本人の意向に沿えるように検討している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅲ　その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1　一人ひとりの把握	36	**○これまでの暮らしの把握** 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時からアセスメント（センター方式）を実施し、本人や家族の会話の中から情報を聴取している。職員は、介護記録やアセスメントを読み把握している。	0	
		37	**○暮らしの現状の把握** 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々入居者を観察し、心身状態やできる能力などを申し送りやケアカンファを通じて把握している。毎月のユニット会議を利用し、各入居者の心身状態を確認し、変化時は、その都度ケア方法を検討し、早期に対応している。	0	
	2　本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己№38～40・外部№18～19)			自己評価３項目・外部評価２項目	0	
	2　本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価18	**○チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】** 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	本人らしい生活が送れるようにアセスメント（センター方式）を使用し、本人、家族、とモニタリングを行ない、介護計画を作成している。	0	
		39 外部評価19	**○現状に即した介護計画の見直し【外部評価】** 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期限内の見直しや毎月のユニット会議を利用し、介護計画の見直しを行っている。状況が変化した時は、すぐにモニタリングを行ない、家族の意向を確認したうえで介護計画を立て直している。	0	
		40	**○個別の記録と実践への反映** 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録や連絡ノートに詳細を記載したり、申し送りを利用し情報を共有している。　毎月のユニット会議や定期的に実施しているモニタリングを行ない、介護計画に活かしている。	0	
	3　多機能を活かした柔軟な支援(自己№41・外部№20)			自己評価１項目・外部評価１項目	0	
	3　多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価20	**○事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】** 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人と家族の時間や関わりがもてるように柔軟な対応を行っている。本人の希望にて、散歩の帰りに短時間入居者の自宅に同行したりしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅲ　その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	４　本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己№42～51・外部№21～22)			自己評価１０項目・外部評価２項目	1	
	４　本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	42	**○地域資源との協働** 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の方、町内会の方、幼稚園、交番、消防署などの協力体制は、できている。近隣の方への挨拶を行い、ボランティアの受け入れも積極的に行っている。	0	
		43	**○他のサービスの活用支援** 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の意向や必要性に応じて他のサービスと連絡を取りながら、サービス利用できるようにに努めている。	0	
		44	**○地域包括支援センターとの協働** 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括センターとの交流が少ない。	0	
		45 外部評価21	**○かかりつけ医の受診支援【外部評価】** 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の希望を大切にし訪問診療を月に２回行っている。緊急受診の際は、職員が付き添い、受診後は、家族連絡を行っている。	0	
		46	**○認知症の専門医等の受診支援** 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症学会に所属している医師が在籍するながら医院と連携を図り、診断や治療を受けられるように支援している。	0	
		47	**○看護職との協働** 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員が常勤しているため、健康管理や医療活用がすみやかに対応出来ている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	48	**○早期退院に向けた医療機関との協働** 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	定期的に面会に行き、観察を行ない家族と連絡を取り状態を把握している。早期退院できるよう医療連携室と連絡を取り、話し合いや情報交換を行っている。	0	
		49 外部評価22	**○重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】** 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療連携体制を取っている。入居時に重症化した場合の指針に同意を頂いている。終末期に対する意向が家族の中で変わることがあるので、何度も話し合いを行っている。その中で家族の思いや本人の思いを職員に伝え、意思を尊重しながら行っている。	0	
		50	**○重度化や終末期に向けたチームでの支援** 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	過去一人ホームで看取りをおこないました。その時も家族とは、何度も話し合いを行い、ホームでできるケアについて説明を行ない、納得のうえケアを行い、家族には感謝のお言葉を頂きました。重症化していく段階で状態に合わせ、主治医を含めた家族との話し合いを行い、本人、家族が望まれるターミナルケアの検討を行っている。	1	ターミナルケアについては、母体の医院やスタッフと話し合いを行い、当ホームでできるケアを確立して支援していきたい。
		51	**○住み替え時の協働によるダメージの防止** 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人や家族の意向を考慮し、受け入れ先施設や病院などに一緒に出向き見学をしたり、情報交換を行っている。	0	
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
			Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援　１～２ (自己№52～89・外部№23～33)	自己評価３８項目・外部評価１１項目	3	
	1 その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己№52～81･外部№23～30)			自己評価３０項目・外部評価９項目	3	
	1 その人らしい暮らしの支援	(1)	一人ひとり尊重(自己№52～54・外部№23～24)	自己評価３項目・外部評価２項目	0	
		52 外部評価23	**○プライバシーの確保の徹底【外部評価】** 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	本人の尊厳を傷つけないように、言動や記録に気を配っている。個人情報については、十分注意するように説明を行い、在職中はもちろん退職後も漏洩がないように指導を行っている。	0	
		53	**○利用者の希望の表出や自己決定の支援** 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の思いや訴えができるようなペースの関わりを持つようにしている。わかりやすい言葉で説明を行い自分の意思で決定できるように支援している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅳ　その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1　その人らしい暮らしの支援	54 外部評価24	○日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の身体状況に合わせて、居室で過ごされたり、リビングで過ごしたりと本人の意思を尊重しながら支援している。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己№55～60・外部№25～26)	自己評価６項目・外部評価２項目	0	
		55	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容･美容は本人の望む店に行けるように努めている	毎月訪問美容を利用してもらい、本人の好みに応じて散髪・ヘアカラー・パーマ・ヘアカラーなどを行っている。更衣については、本人の好みを聞きながら、季節に応じた洋服を選んでもらっている。	0	
		56 外部評価25	○食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の身体能力に応じて調理・配膳・後片付けなどを職員と一緒に行っている。入居者のできる事を捜し、役割作りもしている。おやつ作りも入居者が好まれる物を選び定期的に行っている。	0	
		57	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	肉類・青魚・乳製品が食べられない方には、代替品で対応している。本人の好まれる食品や飲み物があればできる範囲で用意し楽しめるように支援している。飲酒に関しては、夏まつりやお正月などに提供している。飲酒や禁煙に関しては、入居時にホームではできないことは、説明している。家族も禁煙・禁酒を望まれる。	0	
		58	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を利用し、一人ひとりの排泄パターンを把握し定期的にトイレ誘導を行ったりしている。それにより失禁を減らし、不快感を与えないように支援を行っている。	0	
		59 外部評価26	○入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日を決めているが、本人の希望をを聞き交代したりしている。入浴を拒否される方へは、時間を置いたりスタッフを変えたり、入浴剤を使用したりして気持ちよく入浴できるようにしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅳ　その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1　その人らしい暮らしの支援	60	**○安眠や休息の支援** 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	本人の生活のリズムやパターンを崩さないようにその時の状況に合わせた必要な援助を行っている。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己№61～66・外部№27～28)	自己評価６項目・外部評価２項目	1	
		61 外部評価27	**○役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】** 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活暦から趣味や得意なことを探し出し、裁縫・園芸・編み物・工作など楽しみを作り支援している。	0	
		62	**○お金の所持や使うことの支援** 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を持つことを希望される方には、家族と話し合って少額財布に入れて、自己責任のもと管理してもらっている。買物に行く時は、本人に購入してもらい、支払は一緒に行い領収書を必ず受け取るようにしている。	0	
		63 外部評価28	**○日常的な外出支援【外部評価】** 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日用品など購入を希望された場合は、近くのスーパーや商店街に買物に行っている。気候のよい春や秋には、散歩に出かけたり、お正月には、入居者と一緒に初詣に出かけている。	0	
		64	**○普段行けない場所への外出支援** 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	年間行事で外出の機会を提供し、年一回家族の同行参加をお願いして行っている。近所に自宅のある入居者の方には、散歩の帰りに寄ったり、本人が行きたい場所には家族にも協力してもらい外出できるように支援している。	0	
		65	**○電話や手紙の支援** 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	個人携帯の管理も行っており、本人が電話をかけたいと申しでられた時にかけてもらっている。遠方の家族の方には、手紙を書かれるように促したり、かけない方には、代筆したりしている。書かれた手紙は、一緒に近くのポストまで投函しに行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅳ　その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1　その人らしい暮らしの支援	66	**○家族や馴染みの人の訪問支援** 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	各行事には、案内状を配布し、面会時には声かけしたり、参加を促している。居室やソファー・畳など好きな場所で好みのお茶やお菓子を食べてもらいながら、ゆっくりくつろいでもらえるようにしている。	1	家族以外の方も気軽に足を運んでもらえる関係作りを行ないたい。
		(4)	安心と安全を支える支援(自己№67～74・外部№29～30)	自己評価８項目・外部評価２項目	2	
		67	**○身体拘束をしないケアの実践** 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルを作成し、職員に周知徹底をし、意識の統一を行っている。生命に危険を及ぼすことがない限り身体拘束は、行わない。	0	
		68 外部評価 29	**○鍵をかけないケアの実践【外部評価】** 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ユニットの玄関には、鍵はかけず、スタッフ付き添いのもと、自由に行き来できるようにしている。玄関には、人感センサーを設置し、センサーが反応した時は、すぐに玄関へ確認に行くように徹底している。	0	
		69	**○利用者の安全確認** 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	リビングでは、必ずスタッフが見守りを行い入居者の観察、記録を行っている。又スタッフ間では、声をかけ合い入居者の所在、状況を把握し、安全に配慮している。	0	
		70	**○注意の必要な物品の保管・管理** 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者一人一人の状況に応じて、安全性を考えながら検討と対応をしている。	0	
		71	**○事故防止のための取り組み** 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	定期的にヒヤリハットを報告書を提出し、防止対策をたてている。事故が起こった時は、事故報告書を提出し、迅速に会議を行うことで、再発防止に取り組んでいる。入居者のＡＤＬの変化に伴い、事故のリスクの要因を話し合い、現状態を各自が把握できるように努めている。	1	事故の認識を高めるための勉強会を定期的に行いたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅳ　その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1　その人らしい暮らしの支援	72	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時対応のマニュアルを作成し、看護職員が勉強会や業務の中で介護職員への指導や教育を行っている。全職員が医療物品の保管場所を把握できるようにしている。	0	
		73 外部評価 30	○災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時マニュアルを作成し、勉強会や訓練を行っている。避難訓練を年に２回行っている。	1	訓練の際は、近隣の方にも参加していただけるように交流を深めて行きたい。
		74	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	ケアプランなどを通じてリスクの説明を行っている。状態が変化してきた時は、すぐに家族に連絡し、日時を決めて主治医を交えた状態の説明も行っている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己№75～81・外部№31)	自己評価７項目・外部評価１項目	0	
		75	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日バイタルサインの測定を行い、異常時は、管理者や看護職員へ報告して指示を仰いでいる。母体が医院のため、必要時はすぐ受診をおこなっている。。入居者の病状や異常時などの対応方法について、ケアカンファ、会議などでで情報を共有し確認している。	0	
		76	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の目的、用法、用量、副作用などは、「入居者薬管理簿」にまとめてすぐわかるようにしている。その日の内服薬は、ホワイトボードに貼付し、飲み忘れがないよう確認にしている。症状の変化については、十分に観察を行い、詳しく記録している。	0	
		77	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	定期的に水分補給を行い、摂取量が少ない方には、水分チェックを行い確認している。食事は、野菜を多くし、バランスのよい献立を作成している。腸の運動を促すために毎朝体操や散歩も行っている。水分もお茶だけではなく、入居者の好きな飲み物を提供している。冷たい牛乳を飲んでもらったり、ご飯ににがりを加えたり予防も行って	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅳ　その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1　その人らしい暮らしの支援	78	**○口腔内の清潔保持** 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	起床時と毎食後に口腔ケアを行っている。各個人に応じた声かけや舌ブラシや綿花を用いた介助も行っている。義歯は、毎晩洗浄剤を使用し、清潔保持に努めている。	0	
		79 外部評価 31	**○栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】** 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事がバランスよく摂取できるよう、入居者の咀嚼や嚥下状態に合わせて、食事の形態を変更している。糖尿病の方には、カロリーを取りすぎないように主食を計り提供している。麻痺のある方には、滑り止めマットや食べやすい器など本人に合わせた対応をしている。	0	
		80	**○感染症予防** 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、ＭＲＳＡ、ノロウイルス等）	感染症に関しての勉強会や業務の中で指導を行い周知徹底している。毎年インフルエンザの予防接種を行い、毎食前に必ず手指の消毒を行なうようにしている。又外出後などには、十分な手洗いとうがいを行うように指導している。	0	
		81	**○食材の管理** 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具は、チェック表を作成し、熱湯消毒や漂白剤の消毒を定期的に行っている。食材は、賞味期限を確認し、期限切れがないように使用している。	0	
	2　その人らしい暮らしを支える生活環境づくり　(1)～(2) (自己№82～89･外部№32～33)			自己評価８項目・外部評価２項目	0	
	2　その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	(1)	居心地のよい環境づくり(自己№82～86・外部№32～33)	自己評価５項目・外部評価２項目	0	
		82	**○ 安心して出入りできる玄関まわりの工夫** 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りには、植木や花を植えている。花は、季節に応じてチューリップやひまわりなど植え替えをしている。近所の方が季節を感じられ昔を回想されるように以前からあった桜と柿の木を残し、入居者も花見や柿狩りを楽しまれている。	0	
		83 外部評価 32	**○居心地のよい共用空間づくり【外部評価】** 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	畳や照明など和を感じさせ、床・手すりなど木目調の素材を使い明るさを感じさせている。一階で咲いた花をリビングのテーブルに飾っている。壁には、季節を感じさせる装飾を入居者と一緒に作成し展示している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅳ　その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2　その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	**○共用空間における一人ひとりの居場所づくり** 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングの畳やソファーで入居者同士、家族と集う場所になっている。	0	
		85 外部評価33	**○居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】** 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族と相談のうえ本人の使いなれた布団や家具、生活用品など持ち込んでいただき、これまでと変わらない生活ができるように環境を作り、安心して生活できるようにしている。	0	
		86	**○換気・空調の配慮** 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	居室、共用部分には、換気扇が取り付けられ調整している。室温は、入居者の居室ごとにエアコンの調整を行なっている。毎朝掃除の際に換気を行っている。	0	
		(2)　本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己№87～89)		自己評価３項目	0	
		87	**○身体機能を活かした安全な環境づくり** 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共用部分には、手すりを設置している。トイレや廊下など危険を回避するため歩行や移動の障害となる物は置かないようにして清掃にも心がけている。	0	
		88	**○わかる力を活かした環境づくり** 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	わかりやすいように居室やトイレ、浴室の表示は、入居者の目線に合わせ低い位置にしている。入居者の表札は居室ごとに絵を変え、ぬいぐるみや造花などを飾っている。	0	
		89	**○建物の外周りや空間の活用** 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	裏口に畑や物干し場があり、洗濯物干しや園芸を入居者と一緒に行っている。畑でできた野菜は、入居者と一緒に収穫し食べている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅴ　サービスの成果に関する項目				取　り　組　み　の　成　果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	
Ⅴ　サービスの成果に関する項目		90	○職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の２／３くらいの ③利用者の１／３くらいの ④ほとんど掴んでいない	1	
		91	○利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に１回程度ある ③たまにある ④ほとんどない	1	
		92	○利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の２／３くらいが ③利用者の１／３くらいが ④ほとんどいない	2	
		93	○利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の２／３くらいが ③利用者の１／３くらいが ④ほとんどいない	1	
		94	○利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の２／３くらいが ③利用者の１／３くらいが ④ほとんどいない	2	
		95	○利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の２／３くらいが ③利用者の１／３くらいが ④ほとんどいない	1	
		96	○利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の２／３くらいが ③利用者の１／３くらいが ④ほとんどいない	1	
		97	○職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	①ほぼ全ての家族と ②家族の２／３くらいと ③家族の１／３くらいと ④ほとんどできていない	1	
		98	○通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない	2	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
Ⅴ　サービスの成果に関する項目		99	○運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない	2	
		100	○職員は、活き活きと働けている	①ほぼ全ての職員が ②職員の２／３くらいが ③職員の１／３くらいが ④ほとんどいない	1	
		101	○職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の２／３くらいが ③利用者の１／３くらいが ④ほとんどいない	1	
		102	○職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族と ②家族等の２／３くらいと ③家族等の１／３くらいと ④ほとんどできていない	2	
Ⅴ　サービスの成果に関する項目				取　り　組　み　の　成　果 （該当番号を該当番号欄に入力すること）	該当番号	

※　Ⅴサービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

※　番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

※　項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。